

## 郡上農林事務所の普及活動状況

平成 30 年 12 月 31 日現在

### 今月の重点活動

#### ■普及活動成果発表 郡上市農業振興大会にて GAP の推進に向けた普及活動を発表

12 月 1 日、郡上市美並町の日本まん真ん中センターにおいて 2018 郡上市農業振興大会が開催され、郡上市内の農業者や関係機関職員等 350 名が参集した。農業普及課は、農業振興事例発表において「GAP 推進による農業経営改善と信頼向上」と題し、GAP 認証に向けた支援活動について報告をした。

この中で、GAP の取組みは無駄の解消、安全性の確保や作業者の資質向上に繋がり、経営改善に役立つこと、GAP 認証の取得は対外的な信頼性向上に結び付くことを説明し、郡上市内においても、GLOBALG.A.P. や岐阜県 GAP 確認制度の認証を受ける農業法人や個別農家が出てきたことを発表した。

農業普及課では今回の発表を通じて、農業者の GAP に対する理解が深まり、GAP 認証者が増える事を期待している。



【成果発表の様子】

### 売れるブランドづくり

#### ■夏秋トマト 岐阜県GAP確認通知書交付式を開催

12月21日に郡上総合庁舎で岐阜県GAP確認通知書の交付式が開催され、郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会の技術研究部会員 3 名が確認通知書を受け取った。

技術研究部会では、県GAP取得に向けた研修会の開催、圃場や作業施設の巡回を通して部会員の意識を高める取組みを行っており、農業普及課はGAPに係る書類整備や自己点検に基づく改善等の指導を行ってきた。

交付後部会員からは、「これからはGAPが当たり前になる」「労働環境の改善に役立てたい」等の意見が出されGAPに取り組む意気込みが感じられた。

農業普及課では関係機関と連携をしながら、部会全体で県GAPを取得できるよう指導すると共に経営面でのメリットが出せるよう支援を続けていく。



【交付式の様子】

#### ■わしみかぶら ガヤガヤ会議を開催

12 月 11 日に、「わしみかぶら」生産者 17 名と関係機関(郡上市・JA めぐみの・郡上農林事務所)職員 6 名が参加して、「わしみかぶら」の栽培に関するガヤガヤ会議を開催した。

「わしみかぶら」は郡上市高鷲町で古くから栽培されているクサビ形の蕪で、赤白のコントラストに特徴があり、平成 14 年から県の飛騨美濃伝統野菜に認証されている。しかし、生産者の高齢化が進み、作付の継続が危惧されだしたため、今回のガヤガヤ会議を開催した。

会議では郡上市農業アドバイザーからこれまでの経緯について、県からは実態調査結果について説明した後、出席者から自由に意見を出して貰い、現状やこれからの方向性について話し合った。

話合いの中で伝統野菜に認証されている事を知っていた人は多かったが、各家庭



【会議の様子】

で漬物に加工し自家消費したり、知人にあげている実態が確認された。また、自家消費の現状に満足している人が大半で、青果物や加工品として販売する意向を持つ人は僅かであった。なお、種子の確保が心配されたが、他の蕪と交配して特性を失った場合、生産者同士で種子を融通し合い、「わしみかぶら」の特性を守っている事が分かった。今後は「わしみかぶら」のブランド維持のため方策を検討することになった。